

第1学年1組 音楽科学習指導案

授業者 教諭 宮崎 早予子
ゲストティーチャー 染谷 太郎

- 1 題材名 おはなしをリズムでたのしもう
- 2 題材の目標 様々なリズムの面白さを感じ取って、リズムをつくって表現する。
- 3 題材でひもとく音楽の要素や仕組み 【リズム、問いと答え】

4 題材設定の意図

(1) 題材観

本題材では、楽曲の中の様々なリズムの面白さを感じ取って、リズムをつくって表現することをねらいとしている。この題材では、「おむすびころりん」というリズムを生み出す言葉が多く使われている歌詞や、楽曲を構成しているリズムを手がかりに、リズムをつくって表現する活動を取り入れたいと考えた。また、リズムでお話する活動を通して、「問いと答え」という音楽の仕組みを感じ取ることができるのではないかと考え、この題材を設定した。

(2) 児童の実態（男子13名 女子15名 計28名）

本学級の児童は、明るく、活発で、音楽が大好きな児童が多い。これまで、拍の流れを感じ取ってリズム打ちをしたり、言葉を使ったリズム問答をしたりする活動を朝の音楽活動や授業の始めに行ってきた。

音楽に関するアンケートでは、次のような結果である。 (7月調査)

- | |
|--|
| ・音楽の授業の中で、好きな活動は何ですか。(複数回答) |
| 歌を歌う 17人 楽器を演奏する 23人 音楽に合わせて体を動かす 19人 |
| リズムやメロディーをつくる 10人 音楽を聴く 16人 |
| ・音楽を演奏するときに、イメージをもって演奏していますか。 |
| はい 24人 どちらかといえばはい 1人 どちらかといえばいいえ 2人 いいえ 1人 |

この結果から、つくって表現することは経験が少ないこともあり、好きな活動として挙げている児童が少ないことが分かる。

「おむすびころりん」は、国語の学習で音読を楽しんだことのある物語で、児童が大好きなお話なので、本題材の活動にも喜んで取り組むと考える。

(3) 指導観

本題材では、お話の場面の様子や登場人物の気持ちを想像して、リズムをつくる活動を行う。ここでは、楽曲を構成しているリズムからタン（♪）とタタ（♪♪）を使ってそれぞれの登場人物に合ったリズムをつくって歌の伴奏として演奏する。また、リズムを交互に演奏してできた「問いと答え」を間奏として演奏する。そして、お互いに聴き合い、音楽物語として学習発表会や幼稚園児との交流会で発表させていきたい。

5 教材について

- ・「おむすびころりん」 (平井 多美子 作詞 石桁 冬樹 作曲)

歌詞の言葉から、いろいろなリズムをつくっていくことができる教材である。楽器で歌と一緒にリズム打ちしたり、間奏としてつくったリズムを演奏したりして楽しむことができる。

- ・「がっきでおはなし」 (ゲストティーチャーによる即興表現)

打楽器奏者によるボンゴとコンガなどの打楽器による即興表現である。言葉を使わなくても、音やリズムで気持ちが通じ合えることを児童が感じ取ることをねらいとしている。

6 題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	ウ 表現の技能
歌唱			
器楽			
創作	○	○	○
鑑賞			
評価規準	様々なリズムの面白さに関心をもち、リズムづくりを楽しんでいる。	様々なリズムの面白さを感じ取って、豊かな表現を工夫している。	物語のイメージに合うリズムをつくって表現している。
学習活動の活働に規お準ける	①リズムによる「問いと答え」に関心をもち、リズムあそびを楽しんでいる。	①楽曲を構成しているリズムを感じ取っている。 ②感じ取ったリズムを生かしたリズム表現を工夫している。 ③様々なリズムを感じ取って、楽器の音色を生かした表現を工夫している。	①歌とリズムを合わせて、物語の音楽をつくって表現している。

7 学習と評価の計画 (5時間扱い)

次	ねらい	主な学習活動	具体的評価規準
第1次 (2)	○様々なリズムを感じ取って、リズムあそびやリズム打ちをする。	「おむすびころりん」「がっきでおはなし」 ○打楽器の演奏を聴いたり、リズムあそびをしたりして楽しむ。 ○範唱を聴いて、曲の感じを捉えて歌ったり、リズム打ちをしたりする。	アー① イー①

第2次 (3) 本時は 第2時	○物語のイメージに合ったリズムをつくって表現する。	「おむすびころりん」 ○物語の様子を思い浮かべて、登場人物に合ったリズムを工夫してつくる。 ○場面や登場人物のイメージに合った楽器を選んで、楽器の音色を生かしたリズム表現を工夫する。 ○場面や登場人物のイメージに合わせてつくったリズムを歌に加えて、物語の音楽を演奏する。	イー② イー③ ウー①
--------------------------	---------------------------	--	-------------------

8 本時の学習（第2次 第2時）

(1) 本時の学習について

本時の学習では、前時に登場人物のイメージに合わせてつくったリズムを、登場人物や場面に合った楽器を選んで演奏する活動を行う。「問いと答え」を感じ取って、楽器でお話する表現のよさを楽しむ活動を展開したい。

(2) ねらい

場面や登場人物のイメージに合った楽器を選んで、リズム表現を工夫する。

(3) 準備・資料

打楽器（ボンゴ コンガ タンブリン カスタネット 鈴 シューカー ウッドブロック など）、拡大歌詞、リズムカード、ホワイトボード、オルガン

(4) 展開

学習内容と主な学習活動	教師の働きかけ（◆学習活動における具体的評価規準）
<p>1 学習の雰囲気をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> リズム遊びをする。 「おむすびころりん」を歌う。 <p>2 本時のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ○○にあったがっきをえらんで、リズムうちをしよう。 </div> <p>おじいさん おむすび ねずみ おばあさん</p> <p>3 登場人物に合った楽器を選んでリズムの工夫をする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0; display: inline-block;"> がっきをえらぼう。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0; display: inline-block;"> リズムうちしよう。 </div>	<p>○歌詞の内容や楽曲の気分を感じ取りながら、明るい声でのびのびと歌うように支援する。</p> <p>○本時は、前時につくったリズムに合う楽器を選んで、リズム打ちを工夫することを説明する。</p> <p>○担任とGT、児童とGTで、前時につくったそれぞれの登場人物に合ったリズムを打ったり、様々な打楽器で演奏したりして、本時の活動のイメージをつかむようにさせる。</p> <p>○児童は、4つの場面に分かれてグループ活動を行う。それぞれの場面における登場人物とリズムをホワイトボードに掲示し、確かめながら楽器を選ぶよう支援する。</p> <p>○GTは、楽器選びや、リズム打ちの工夫の活動を支援する。</p>

おはなししてみよう。

こころこころこころ
どっこいしょ

こころりん
すつとんとん

かえったよ
うれしいな

ききあおう。

4 本時のまとめをする。

(1) 感想を発表する。

- ・カスタネットの音が、おむすびのころがるようすにあっていた。
- ・リズムがかさなって、がっそうになった。
- ・がっきでおはなししているかんじがした。

(2) 次時の内容を確認する。

○楽器を使わず、身体を使った表現（ボディパーカッション）でもよいことを助言し、児童のイメージに合った表現の仕方を工夫させたい。

○正しくリズムを打てない児童には、一緒にリズム打ちをしたり、拍打ちをしたりして、支援する。

◆様々なリズムを感じ取って、楽器の音色を生かした表現を工夫している。

（イー②：活動の様子を観察、演奏の聴取）

○歌の伴奏として楽器でリズムを演奏したり、間奏として交代で演奏したりして、様々なリズムの楽しさを感じ取らせたい。

○登場人物のイメージに合った楽器を選んでいることや、強弱をつけているなどの工夫に気付いた児童の発言を取り上げ、なぜそう思ったか、理由付けをさせたい。

○友達の発表の音色やリズムに注目した発言や「問いと答え」の仕組みに気付いた発言を賞賛する。

○次時は、歌とリズムを合わせて物語を完成させる活動であることを確認する。

9 観点別評価の生かし方

【音楽的な感受や表現の工夫】	
評価規準	評価方法・Cと判断される状況への働きかけ・Aと判断するキーワード
イー② 様々なリズムを感じ取って、楽器の音色を生かした表現を工夫している。	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動における児童の様子を観察し、リズム打ちや表情などから捉える。 <p>【Cと判断される状況への働きかけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒にリズム打ちをしたり、拍打ちをしたりして支援する。 <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>□表現の工夫に対する積極的な発言</p>